

# 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	3010425
-------	----	------	---	-------	---------

➔

【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
	農業委員会事務局	庶務班

事業(予算)名	農地調整事業							
総合計画体系	施策の大綱		第3章 みんなが活躍し、農・商・工がともに輝く活力あるまち					
	施策		施策1 魅力ある農林業の推進					
	施策の展開		(4) 農地の有効活用					
予算科目	会計	一般	款	5	項	1	目	1
関連計画・根拠法令等	農振法 農地法 農業経営基盤強化促進法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	不明				—			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	後継者・担い手不足により、遊休農地が増加傾向である。							
	対象 (誰・何を)	市内農地							
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	食料の安定供給を図るための重要な生産基盤である農地の適正かつ効率的な利用を促進し、市内農地の利用状況について「農地利用状況調査」を実施し、遊休農地と判断した農地については、その所有者に対し、農業上の利用の増進を図るための指導を実施する。 また、農地情報を提供し担い手への農地の集約・集積化を推進する。							
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )							
	事業手法選択の理由	農地の適正かつ効率的利用の促進は農業委員会が大きな役割を担っていると考えるため。							
	協働の取組	無	協働の取組内容						

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
農地利用状況調査の実施	日	2	2	2	遊休化農地の抑制
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
新規就農者	人	7	60	新規就農希望者も担い手として適正な農地利用促進を図る対象者と成り得るため。	
耕作放棄地面積	ha	40.7	60以内	農地の適正かつ効率的な利用を促進し、遊休農地の抑制を図るため。	
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
新規就農者	人	7 (H26)	60	指標	新規就農希望者も担い手として適正な農地利用促進を図る対象者と成り得るため。
耕作放棄地面積	ha	40.7 (H26)	60以内	KPI	農地の適正かつ効率的な利用を促進し、遊休農地の抑制を図るため。
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
農地調整事業		農業委員会事務局	庶務班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
農地利用状況調査の実施	日	2	2	2		2	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	市内の農地について、「農地利用状況調査」を実施し、遊休農地と判断した農地の所有者に対し利用意向を確認するとともに、農業上の利用の増進を図るため、適正に利用するよう注意喚起を行った。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	市内の農地状況について「農地利用状況調査」を実施し、遊休農地と判断した農地の所有者に対し、農業上の利用の増進を図るための指導を実施する。農地情報を提供し、担い手への農地の集約・集積化を推進する。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	